



レベル 3 303 試験の出題範囲改訂 (Ver2.0) について (差分の説明)

2016年3月1日(予定)より、日本語版のレベル 3 303 試験の出題範囲を改訂します。
改訂時期は変更になる場合がございますのでご了承ください。
改訂後の出題範囲のバージョンは、**Ver2.0** となります。

■ LPIC レベル 3 303 試験 (Ver2.0) の出題範囲

<http://www.lpi.or.jp/lpic3/range/range303.shtml> (日本語)

<https://www.lpi.org/study-resources/lpic-3-303-exam-objectives/> (英語)

■ 出題範囲改訂の背景とメリット

ITシステムへの攻撃は、手法・経路とも年々複雑化・多様化しています。303 試験 Ver1.0 がリリースされた 2009 年から 5 年を経て、今回の出題範囲の改訂では近年の傾向を反映して Linux およびオープンソースの最新のセキュリティ技術を取り入れて再編成いたしました。

303 試験 Ver2.0 では、各種アプリケーションと X.509 証明書の範囲の拡張、DNSSEC の追加、ホストおよびネットワークでの侵入検知と監視技術を拡張しています。

303 試験 Ver2.0 の認定を保有することで、Linux およびオープンソースに必要な最新のセキュリティの知識と技術力を有していることを証明できます。

■ LPIC-303 ver2.0 における変更点

- 1) OpenSSL 証明書および X.509 証明書を拡張しました。様々なアプリケーションのセキュリティ(DNSを除く)をこの主題に統合し、これらの技術を使用する際の参照アプリケーションとして、Apache と openssl のツールを配置しました。
- 2) DNS サービスにおけるセキュリティについて深さと広さを拡張しました。DNSSEC と DANE に関する知識を含みます。
- 3) 暗号化ファイルシステムの主題に eCryptfs を追加しました。
- 4) ホストとネットワークの侵入検知および監視の主題を再編成し、OpenVAS を範囲に取り入れました。
- 5) パケットフィルタリングの範囲を拡張し、IPV6、etables、nftables および nft を取り入れました。
- 6) ホストの構成管理および高度な GPG 利用に関するトピックは、LPIC-1/LPIC-2 と重複するため削除しました。

■ LPIC-3 303 の Ver1.0 と Ver2.0、LPIC-1、2 との関係

LPIC 303-200		LPIC 303-100	LPIC 10x,20x-400
主題 325: 暗号化 (*1)		主題 320: 暗号化	
325.1 X.509 証明書と公開鍵の基礎	5	320.1 OpenSSL	
325.2 暗号化、署名および認証の X.509 証明書	4	322.3 Apache/HTTP/HTTPS	208.2 HTTPS 向けの Apache の設定
325.3 暗号化ファイルシステム	3	320.3 暗号化ファイルシステム	
325.4 DNS と暗号化 (*2)	5		
		320.2 高度な GPG	110.3 暗号化によるデータの保護-LPIC-1
主題 326: ホストセキュリティ (*1)		主題 323: 操作のセキュリティ	
326.1 ホストの堅牢化	3	323.1 ホスト構成管理	
326.2 ホストの侵入検知 (*2)	4		
326.3 ユーザの管理と認証	5	321.1 ホストベースのアクセス制御	
326.4 FreeIPA のインストールと Samba の統合	4	321.3 SELinux	
主題 327: アクセス制御 (*1)		主題 321: アクセス制御	
327.1 任意アクセス制御	3	321.2 拡張属性と ACL	
327.2 強制アクセス制御	4	321.4 その他の強制アクセス制御システム	
327.3 ネットワークファイルシステム	3	322.6 NFSv4	209.2 NFS サーバの設定
主題 328: ネットワークセキュリティ (*1)		主題 324: ネットワークセキュリティ	
328.1 ネットワークの堅牢化	4	324.2 ネットワークセキュリティスキャン機能	
328.2 ネットワークの侵入検知	4	324.1 侵入検出	
328.3 パケットフィルタ	5	324.4 netfilter/iptables	
328.4 仮想プライベートネットワーク (VPN)	4	324.5 OpenVPN	212.5 OpenVPN
		324.3 ネットワークの監視 (*3)	200.2 将来のリソース需要を予測する
		主題 322: アプリケーションセキュリティ (*3)	
		322.1 BIND/DNS (*3)	207.3 DNS サーバを保護する
		322.2 メールサービス (*3)	211.1 電子メールサーバの使用
		322.4 FTP (*3)	212.2 FTP サーバの保護
		322.5 OpenSSH (*3)	110.3 暗号化によるデータの保護-LPIC-1
			212.3 セキュアシェル (SSH)
		322.7 syslog (*3)	205.3 ネットワークの問題を解決する

- * 1: 主題の数字は、主題名は 303Ver1.0 と同じか同等ですが、内容に変更がされたため番号が変わったことを示します。
- * 2: 303Ver2.0 で新規の項目です。
- * 3: LPIC-1 または LPIC-2 に移動されました。

■ 旧バージョンの受験期間延長

新バージョン (Ver2.0) リリース後の「6ヶ月間」は、旧バージョン (Ver1.5) を選択して受験することもできます。

また、バージョンに関係なく、有意な LPIC レベル 2 を保有し、303 試験に合格すれば、LPIC-3 Specialty LPI-303 Security に認定されますが、この分野の技術の進展は著しいため、新バージョンでの受験をお勧めします。

なお、ピアソン VUE の受験予約ページには、各バージョンの試験は下記のように表示されます。

試験	ピアソン VUE の予約画面での表示	
	試験番号	試験名
303 試験 (Ver2.0)	303-200	LPI Level 3 Exam 303, Security, version 2.0
303 試験 (Ver1.5)	303-150	LPI Level 3 Exam 303, Security, version 1.5

以上